



www.alpajapan.org

日乗連ニュース ALPA Japan NEWS

Date 2003 . 4 . 24 No 26 - 58

発行: 日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan

幹事会

〒144-0043

東京都大田区羽田5 - 11 - 4

フェニックスビル

TEL.03-5705-2770 FAX.03-5705-3274

E-mail:office@alpajapan.org

IFALPA ACCIDENT ANALYSIS 委員会主催 SAFETY SEMINAR in TOKYO のご案内

2003年6月9日から品川プリンスホテルで、IFALPAのLEGAL、ACCIDENT ANALYSIS、INDUSTRIALの三委員会のJoint Committeeが開催されますが、開催初日の6月9日に同じ品川プリンスホテルでAA委員会主催のSafety Seminarが開催されます。

日本では昨年12月にJAL706便事故の機長が起訴されるという異常な事態に対し、各国から高い関心が集まっています。4月にポルトガルのマデイラで開催されたIFALPA年次総会でも会長を始め世界中の協会代表から日本の事故調査のあり方や刑事捜査優先のあり方に驚きや怒りの声が多く出されました。

そこで国際的観点から航空機事故と刑事裁判の問題を検証し、私達はこれらの問題をどのように考えていくべきか、世界はどのような観点で刑事問題を捉えているのか、一緒に考えてみませんか？

当日はIFALPAの事故解析委員会、法律問題委員会の各委員長から『航空機事故と刑事裁判に関する国際的な現状』の紹介、また今期からIFALPA PO(本部役員、副会長)となった安藤議長代行(日航機長組合)による日本の現状と問題点の紹介、更に日本の事故調査委員会へも講演を依頼中(未定)です。最後に直接皆さんの御意見や質問等にお答えする質疑応答の時間も設けてあります。通訳も配置しますのでふるって御参加ください。

SAFETY SEMINAR 開催要領

「日時」 2003年6月9日(月曜日) 9時~17時

「場所」 品川プリンスホテル 新館32階 函館の間

- 「講師」
- ・ Captain. Lou van Munster: IFALPA AA(事故解析委員会)委員長。KLMオランダ航空MD-11現役機長。IFALPAとしての考え、KLMにおける取り組み等を紹介。
 - ・ Captain. Fanie Coetzee: IFALPA LEG(法律問題委員会)委員長。ALPA South Africa出身。弁護士の資格を保持。各国の刑事問題の実情、裁判においてCVR、FDRの使用制限を認めさせたニュージーランドの事例等を紹介。
 - ・ 安藤 真之 機長: 日本航空機長、IFALPA PO(本部役員、副会長)。JL706便の事例を中心に日本の実状と今後の課題について紹介。

* 参加希望される方は事前に各単組を通じて日乗連へお知らせください。

